

人づくり ニュースレター

令和4年度

Vol.2

1. NPO法人まちなびや 2. バンビーノ・プロジェクト 3. 小川上子ども塾 4. 人づくり推進員全体研修会

◆「ひと・もの・こと」と出会う

NPO法人まちなびや

理事長 弓削幸恵（人づくり推進員）

問合せ ☎ 054-264-7170

✉ info@machinabiya.com

▼店内の様子



▲外観

静岡鉄道長沼駅の前にあるNPO法人まちなびやでは、土曜日午後1時から5時まで、火曜日を除いた平日午後3時半から5時まで駄菓子屋を営んでおり、子どもたちの社交場になっています。

2006年に屋号として掲げた「まちなびや」の名称には「まちをまなぶ」「まちをナビする」「学びに血を注ぐ」等の意味が込められており、人づくり推進員の弓削幸恵さんが理事長を務めています。

▼オクシズ森林の教室



▲大工に弟子入り教室

◇まちなびやの多様な活動

静岡市教育センターで地域人材を活用した国際教育の研究をしていた弓削さんは、2005年、経験を生かし「^{まち}学区のお宝さがしプロジェクト」という活動を始めました。活動拠点として事務所を構え、そこに駄菓子屋を開きました。

作る側に立つ経験を提供することで、消費者となることが多い子どもたちに作り手としての喜びを味わってもらいたいという思いから、駄菓子屋でのくじやチラシ作り、働く大人(シゴト人)に子どもたちがインタビューして作成するまちのおしごと図鑑コ・ゴドモンデ作りなどに取り組んでいます。そのほか、子どもたちが店長となり企画・出店することも10円商店街、学校への出張授業(オシゴトーク、オクシズ森林の教室)など、活動内容は多岐に渡っています。

◇ある日の駄菓子屋

取材を行った日のまちなびやは、お年玉を持った子どもたちで大賑わいでした。学校が終わってから一度家に帰り、財布を持って友達と駄菓子屋に来たそうです。当たり付きの駄菓子や、まちなびやが手作りしたおかしくじとガチャガチャの人气が高く、くじの結果に一喜一憂する子どもたちの賑やかな声が飛び交いました。

駄菓子屋をあまり見かけなくなった現代において、まちなびやは地域の子どもたちにとって大変貴重な場所です。子ども時代の楽しい思い出はもちろん、懐具合に応じたお金の使い方という学びも得ているのではないのでしょうか。



▲合計金額を計算中の常連さん

◆ 地区の誇りと愛着を高める

バンビーノ・プロジェクト

主催 静岡大学阿部耕也研究室
協力 NPO法人まちなびや
静岡大学公認ボランティアサークルAVEC
静岡市大谷・小鹿まちづくり推進課

問合せ 静岡市大谷・小鹿まちづくり推進課
☎ 054-238-1981



プロジェクトチラシ

静岡市駿河区の大谷・小鹿地区では、日本平久能山スマートIC開設をはじめとした土地区画整理事業による都市基盤整備が進んでいます。地域にとっての大切なものや資源を残した魅力ある“まちづくり”のために、ハード整備だけでは解決できない地域課題をソフト事業と連携して対応するため、公民連携の「大谷・小鹿地区まちづくり検討会議」を行っています。

この会議のコミュニティ事業として、静岡大学阿部研究室主催で「バンビーノ・プロジェクト」が実施されました。初めに紹介したNPO法人まちなびやも協力しています。

◇知る！考える！体験する！

「バンビーノ・プロジェクト」では、地域おすすめスポットマップが作成されました。イベントに訪れた皆さんのおすすめの場所や、クイズラリーの参加者がまちを歩いて発見したことを記入した旗が、大谷・小鹿地区の大きな地図にたくさん立てられました。

他にも、昔の写真から当時を知る地域資源ブースや、地元大谷地区にある静岡大学の公認ボランティアサークルAVECの学生たちによるゲームコーナーが設置されました。また、JA静岡市南部営農経済センターやいちご園三軒屋による農産物の出店、駿河消防署大谷出張所による防災アドバイスなど、地域の人材や資源が会場である大谷小学校に集結しました。

イベントのメインターゲットは子どもたちであり、地区の課題(大きな谷)を子どもたち(小さな鹿)の体験を通じて解決または可視化し、地区の誇りと愛着を高めることを目的として開催されましたが、子どもたちに同行して参加した保護者や、集まった地域の方々など、幅広い年代での地区の交流が生まれていました。

◇大・小まち探検ゲーム

クイズラリーは、まちなびやが主催した「大・小まち探検ゲーム」です。大・小には、①大谷・小鹿、②大学・小学校、③大規模開発のまちで小さなコミュニティをつくる、という多くの意味が込められています。

ルール説明の際に配られたリーフレットには、地図と穴埋め式のクイズがあり、参加者はクイズの答えを求めて大谷・小鹿のまちへ出かけます。このゲームの一番の特徴はスマホを用いることで、株式会社Otonoが提供する「おともたび」というGPS連動型音声ガイドシステムにより、答えのあるスポットと自分の現在地がスマホに表示されるようになっています。スポットに行くと、事前に行ったそのスポットで働くシゴト人へのインタビュー音声流れ、クイズの答えがわかります。インタビューは子どもたちがプロのレクチャーを受けて行ったものです。

参加した子どもたちは、スポットを次々巡り、大谷・小鹿のまちを歩き回ってクイズを解いていました。大・小まち探検ゲームは地域おすすめスポットマップで得た情報などを元にアップデートし、今後も開催される予定です。

▶ 地域おすすめスポットマップ



▶ スマホで音声を聞く様子



◆ 小川大好き 優しい子 考える子

小川上子ども塾 ～冬休み子ども塾～

代表 長谷川美和子（人づくり推進員）



焼津市小川地区では、人づくり推進員の長谷川美和子さんやボランティアの方々により夏休みと冬休みに小川上子ども塾が開かれています。“卒塾”した中学生も駆けつけ、夏にはあんどん作りや輪なげ、ヨーヨーすくいなどが行われ、冬には凧づくりと凧あげ、コマ回し大会などが行われます。夏冬共通して行われるのは俳句の音読と勉強会です。今回は冬休み子ども塾取材しました。



◀ 凧づくり

お目覚めタイム▶



◇ お目覚めタイム、凧づくり、勉強会

集まって最初に行われるのは俳句の音読で、「お目覚めタイム」と呼ばれています。これは子ども塾の伝統で、夏冬それぞれ季節にあった俳句が選ばれ、子どもたちは元気よく音読します。

1日目には凧づくりが行われました。凧作りは子ども塾が始まって以来8年続いており、子どもたちが和紙にそれぞれ好きな絵や文字を描き、伝統的な凧を組み上げます。新年の干支であるうさぎの絵や文字、好きなキャラクター、凧にちなんだ蛸の絵、縁起の良い言葉など、個性あふれる凧ができました。

2日目は勉強会です。ひとりではなかなか進まない勉強もみんなですると楽しく、集中できるとの声が寄せられました。

◇ 凧あげ、コマ回し大会

3日目には、地域の田んぼで1日目に作った凧をあげました。青空が広がる晴れた日でしたが、凧あげには風が少し弱く、大人たちは心配していました。そんな心配をよそに子どもたちは稲刈り後の田んぼを元気に走り回り、子どもたちが走り続けることで凧は空にあがっていききました。

凧あげの後はコマ回し大会です。練習時間では、子どもたち同士で教え合ったり、中学生に教えてもらったりしながら上達している様子が伺えました。1年生から6年生までの参加者約25人がトーナメント形式でコマが回っている時間の長さを競います。敗者復活戦も行われたため、初戦で負けてしまった子も再チャレンジすることができました。優勝決定戦には2年生と6年生が勝ち上がり、ハイレベルな戦いを全員が固唾を飲んで見守っていました。

長谷川さんは、「楽しい時は楽しく、真剣な時は真剣に。」と子どもたちに伝え、最後はみんなで友達や先生方、使った場所に「ありがとう。」と言って子ども塾は終わりました。「楽しかった」「また来たい」の声に支えられ、毎年行われているそうです。



◀ 一生懸命走り回りました

▶ コマ回し大会決勝戦！



◆ 県の取組紹介

人づくり推進員全体研修会

(事務局) 静岡県スポーツ・文化観光部
総合教育課

問合せ ☎ 054-221-3304

✉ sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp



◇ レジリエンスについて学ぶ

県は、家庭や地域における人づくりや子育てを支援する「人づくり推進員」を委嘱しています。人づくり推進員の更なるスキルアップ、市町担当者や推進員同士の交流を深めることを目的に、毎年、「人づくり推進員全体研修会」を実施しています。今年度は12月9日に行い、推進員や各市町担当者が約50人参加しました。

講師には、静岡大学教育学部の小林朋子教授をお招きし、「子どものレジリエンスを育てるには」と題して御講演いただきました。レジリエンスとは、精神的回復力や立ち直り力のことです。現代の日本の子どもたちの幸福度の低さなどを踏まえ、対人能力や感情のコントロール、自己肯定感を育成する重要性、レジリエンスを育てる具体的なコツなどを教えていただきました。

参加者からは、「保護者向けの子育て講座で活用したい」、「自分自身の日常にも役立つ内容だった」などの感想が寄せられました。

◇ 他の実践例を知る機会

講演後はグループに分かれ、「人づくり地域懇談会」で保護者に伝えていることや、日頃の活動について意見交換会を行いました。推進員がそれぞれ行っている人づくり推進活動について、積極的に情報交換をしていました。また、近年委嘱された推進員が長年推進員として活動をしている方から活動のコツなどのアドバイスをもらう様子も見られました。



人づくり地域懇談会・人づくりハンドブックのご案内

県では、原則無料で人づくり推進員を県内各地に派遣し、「人づくり地域懇談会」を行っています。平成12年から現在まで、幼稚園や保育園、小・中学校、公民館を中心に累計5,700回以上開催してきました。

「人づくり地域懇談会」では、家庭や地域における人づくりのヒントが詰まった「人づくりハンドブック」を配布し、人づくりや子育てに関するアドバイスや、県が進める「人づくり」について説明します。「人づくり地域懇談会」開催や「人づくりハンドブック」につきましては、県総合教育課にお問い合わせください。



～人づくりハンドブック～
希望する方へ無料で送付します

■ 編集・発行 静岡県 スポーツ・文化観光部 総合教育局 総合教育課(総合教育班)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3304 FAX 054-221-2905

E-mail sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp

URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/shogaigakushu/hitozukuri/index.html>

静岡県の人づくり

検索



県ホームページがリニューアルされました!